

保護者の皆様

つくばみらい市立小絹中学校長 会沢 裕之

中学校総合体育大会における1年生の学校待機について（お詫びとご説明）

梅雨の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃より本校教育の推進にご理解とご支援を賜り、感謝申し上げます。

さて、今年度の中学校総合体育大会において、1年生を学校待機とした判断につきまして、事前の説明が十分でなかったために、保護者の皆様にご心配とご不安をおかけしましたこと、お詫び申し上げます。

今回の判断に至った背景について、学校として丁寧な説明を行う責任がありながら、それが不十分であったと受け止めております。

以下に、判断の理由を改めてご説明いたします。

記

1 大会日程が4日間に拡大したことによる校内体制の変化

今年度は大会が4日間開催となり、参加する運動部が日ごとに分散しました。

その結果、学校に残る生徒数が増加し、校内での安全確保のために配置すべき教員数も増やす必要が生じました。

（第2学年：最小46人～最大51人、第3学年：最小34人～最大52人）

昨年度までは開催期間が短いため、学校に残る生徒が少なく、1学級にまとめる対応等が可能でしたが、今年度は同様の対応が困難となりました。

2 会場までの距離とバス輸送の制約

熱中症対策として、室内競技は冷房設備のある日本スポーツ振興センターパークみらい体育館および常総運動公園体育館での実施となりました。本校からは距離があり、市の負担によりバスでの送迎を行っていただいています。

しかし、利用できるバスの台数等には限りがあり、1年生を引率するためにはピストン輸送が必要なことが判明しました。その場合、第1便の集合時刻が早朝5時台となり、生徒の健康面・安全面、さらには保護者の皆様へも負担を考慮すると適切ではないと判断いたしました。

3 1年生引率に必要な人員の増加

大会会場では、引率教員は大会役員として運営に携わるため、競技以外の場面での生徒指導や安全確保に十分な時間を割くことが難しくなります。

1年生にとっては初めての大会参加であり、生徒指導・安全確保・熱中症予防の観点から、より多くの教員配置が必要となります。

しかし、校内に残る生徒への対応と両立させることが難しく、十分な体制を整えることができませんでした。

以上の状況を踏まえ、生徒の安全確保を最優先とし、今年度は1年生を学校待機とする判断をいたしました。

今後は、学校の判断や行事運営に関わる情報について、より丁寧で分かりやすい説明を行い保護者の皆様との信頼関係を一層大切にしていまいります。

なお、各運動部では1年生を含めたミーティングを行い、大会に参加した生徒と1年生が交流できる機会を設けてまいります。

問合せ先

つくばみらい市立小絹中学校

教頭 山本 孝子

電話 0297-52-0505